

<令和5年度 重点努力目標>

1 心の教育の充実

- ① 気づく力の育成
 - ・ 道德教育の推進と人権意識の高揚（組織的な指導や支援）
 - ・ 悩み（いじめ・不登校傾向等）の早期発見・早期対応（報告・連絡・相談の徹底）
- ② 基本的な生活習慣の定着
 - ・ 積極的な生徒指導の推進（心を込めた挨拶・返事、時間、服装、メディア使用ルール）
 - ・ 清掃活動の徹底と自主的な環境美化活動の推進（環境は人をつくる）
- ③ キャリア教育の充実
 - ・ 総合的な学習の時間や体験活動等の充実による自己有用感の育成
 - ・ ふるさと学習の充実と地域人材の活用

2 学力の定着・向上

- ① 考える力の育成
 - ・ 主体的・対話的で深い学びをめざす授業づくり
 - ・ 基礎・基本の確実な習得への取組（朝読書、スピーチ活動、個別支援の充実等）
- ② 学習習慣の定着
 - ・ 全教職員による学力向上プランの実践
 - ・ 家庭との連携による家庭学習の習慣化（学習用端末の活用）
- ③ 個に応じた指導の充実
 - ・ 特別支援教育の充実と特別支援教育の視点を持った取組
 - ・ 関係機関（SC、SSW、県教育センター、南有馬小学校等）との連携

3 気力・体力の向上

- ① 行動する力の育成
 - ・ 主体的に取り組む生徒会活動の推進
 - ・ 全ての生徒が活躍できる学校行事（体育大会、学習発表会等）の工夫
- ② 心身の鍛錬
 - ・ 総合的な学習の時間（自分と向き合う時間の設定）や行事の充実
 - ・ メリハリのある部活動運営（部活動ガイドラインの遵守）
- ③ 校内安全体制の確立
 - ・ 定期的な安全点検の実施と速やかな対応、危険箇所の把握と整備
 - ・ 緊急時における安全体制の確立（危機管理マニュアルの確認・更新）

4 地域に開かれた学校

- ① コミュニティ・スクールの推進
 - ・ 学校運営協議会の充実
 - ・ 地域学校協働本部「スクラムみなんま」との協働
- ② 各種通信の発行による情報公開の推進
 - ・ 学校便り、学級便り、行事通信、保健便り、進路便り等の発行
- ③ P T A や地域行事への参加
 - ・ P T A 行事や地域行事への参加

5 教職員の資質向上

- ① 意識改革による指導改善
 - ・ 「教える」から「生徒が自ら学ぶ」へ、「知識重視」から「考える力重視」へ
 - ・ 「力による指導」から「寄り添う指導」へ、「共感」と「言葉」の重視
- ② 研修による授業改善
 - ・ 生徒主体の授業づくりを目指す校内研修
 - ・ 電子黒板、学習用端末等のICT機器の有効活用
- ③ 潤いのある学びの環境づくりの推進
 - ・ 明るく和やかな職員室、切磋琢磨し高め合う職員集団、きれいで働きやすい学校環境
 - ・ 働き方改革に関する取組の推進（スクラップ・アンド・ビルド）